

都市事例調査

英国ロンドン市、カナダ・バンクーバー市等現況調査

Hiroshi Sato

Graduate school of Media and Governance, Keio University

1. 背景

今回の視察は、海外における都市開発の事例調査である。これまで、東京都港区・品川区の泉岳寺駅周辺の再開発計画の検討をテーマに、研究を進めてきた。行政当局、地元関係者へのヒアリング調査の結果、京浜臨海工業地域や羽田空港国際化、品川リニア新駅の将来構想を包含した首都圏全体の都市像をまず構築することが何より重要であるとの結論に至った。今回の視察では、英国ロンドンの都市課題解決型の再開発並びに、カナダ・バンクーバー市のウォーターフロント開発の実態を調査し、都市デザインの哲学や実践のエッセンスを得て、自身の研究を進める上での示唆を得ることを目的とした。

2. 調査概要

英国ロンドン市内の再開発地区の視察、不動産市場の状況調査。

補足情報：本視察以前に、カナダ・モントリオール市並びにバンクーバー市においても都市再開発事例調査、同地における不動産市場状況調査を実施した。カナダ系金融機関のコーポレート・ファイナンス部担当者へのヒアリング調査を実施し、具体的事実を整理した。

3. 今後の方針

本調査では、当地における都市再開発の歴史、経緯、現状を把握することができた。中でも印象的であった点は、バンクーバー市における不動産価格の高騰である。人々にとって魅力的な都市をつくることは、都市政策の至上命題ともいえるが、魅力ある都市を創造した結果として、現地住民でさえ手が出せないほどの高騰を招いているという事実は見逃せない。本調査で得られた情報をさらに精査の上、我が国の都市再開発研究を展開する際の材料としたい。